

第2章

「帯広の森」の現在 施設編



用地取得の状況

帯広の森は、昭和49年2月12日に334.6haの都市計画決定と同時に用地買収を開始した。その後、都市計画決定面積は昭和52年10月5日(402.2ha)、昭和58年2月3日(402.5ha)、平成5年3月5日(405.6ha)、平成15年3月28日(406.5ha)への変更を経て現在に至っている。

令和6年度末の用地取得の状況は買収予定面積が、都市計画決定面積406.5haのうち、河川、道路、その他の公共用地面積49.7haを除く、356.8haであるのに対して取得面積が347.8haとなっており、取得率は97.5%となっている。

年度	取得面積	取得面積累計	取得予定面積	進捗率	備考
平成27年度～令和5年度	取得なし	347.8 ha	356.8 ha	97.5%	
令和6年度	362.81㎡	347.8 ha	356.8 ha	97.5%	

※用地取得の実績は、40周年記念誌に掲載した年度以降の実績を掲載

施設整備の状況

帯広の森は、都市のスプロール化を 방지し農村部と都市部の交流の場となるほか、自然環境の学習の場、安らぎ・憩いの場、スポーツ振興の場、温暖化・災害抑止効果としての役割を果たしており、これまで運動施設区の施設整備に加えて、森の交流館

などの国際交流施設、はぐくむといった森の育成管理・利活用の拠点施設、散策や休憩のための園路・四阿・トイレ・駐車場などの各施設の整備を進めている。

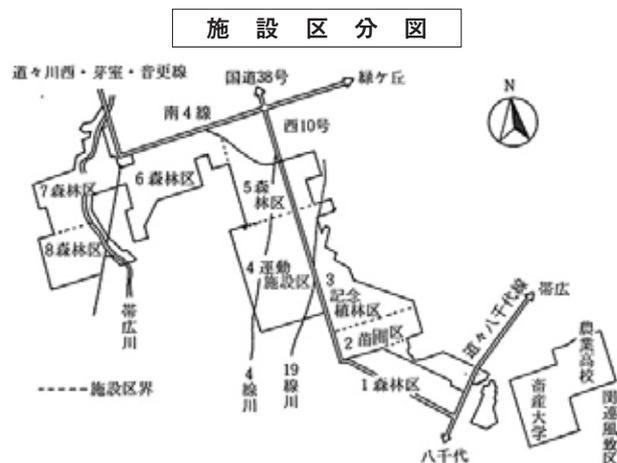
年度	事業内容	備考
平成27年度	築山施設整備(階段設置(本體工))	P75 区域5
平成28年度	築山施設整備(階段設置(附帯工)、トイレ新築1箇所)	〃
平成29年度	築山周辺整備(駐車場整備、園路整備 51m)	〃
平成30年度	築山周辺整備(園路整備 77m)	〃
平成31年度(令和元年)	築山周辺整備(園路整備 87m)	〃
令和2年度	築山周辺整備(園路整備 231m)	〃
令和3年度	築山周辺整備(園路整備 326m)	〃
令和4年度	築山周辺整備(シェルター設置1箇所) 飛行場周辺整備(駐車場整備、園路整備 579m、簡易トイレ設置2基)	P75 区域5 P73 区域3
令和5年度	整備なし	
令和6年度	西11～12号間整備(園路整備 360m)	P76 区域6

※施設整備の実績は、40周年記念誌に掲載した年度以降の実績を掲載

造成計画との対比

帯広の森では、昭和50年3月に策定した帯広の森造成計画を踏まえながら、公園区域を8つの区域に分け、それぞれの区域の現況を活かした施設を配置することとしている。

これまでの区域ごとの主な施設の整備状況は次のとおりである。



出典：帯広の森造成計画書より

区域	主な施設(計画)	主な施設(整備)
1 森林区 「ふるさとの森」	園路、駐車場、トイレ、芝生広場等	園路、駐車場、トイレ、休憩施設、PG場(ふるさとの森コース)
2 苗圃区 「自然の学校」	緑化技術センター、苗圃、園路、駐車場、トイレ、芝生広場等	はぐくむ、園路、駐車場、トイレ、休憩施設、芝生広場、PG場(林間コース)
3 記念植林区 「記念の森」	園路、トイレ、休憩舎、芝生広場等	園路、駐車場、野球場、トイレ、休憩施設
4 運動施設区 「スポーツの森」	陸上競技場、野球場、サッカー・ラグビー場、アイスアリーナ、テニスコート、弓道・アーチェリー場、駐車場、トイレ、池、芝生広場等	陸上競技場、野球場、球戯場、アイスアリーナ、テニスコート、弓道・アーチェリー場、体育館、スポーツセンター、市民プール、レストランぱわっく、研修センター、園路、駐車場、トイレ、池、PG場、芝生広場
5 森林区 「創造の森」	展望塔、屈望レストラン、野外コンサートホール、レストハウス、彫刻群、園路、トイレ、芝生広場等	もりの山、森の交流館、JICA、園路、駐車場、トイレ、休憩施設、芝生広場
6 森林区 「レクリエーションの森」	大池、フィールドアスレチック、キャンプ場、レストハウス、園路、駐車場、トイレ等	園路等整備中
7 森林区 「ふるさとの森」	園路、駐車場、トイレ、水飲み場、芝生広場等	未整備
8 森林区 「ふるさとの森」	レストハウス、園路、駐車場、トイレ、芝生広場等	未整備



もりの山



トイレ(もりの山)



休憩施設(もりの山)



園路(西11~12号間)

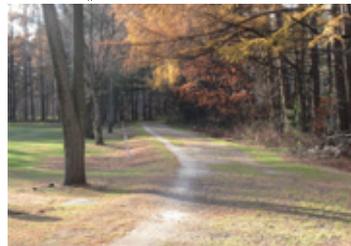


駐車場(飛行場周辺)



区域 2

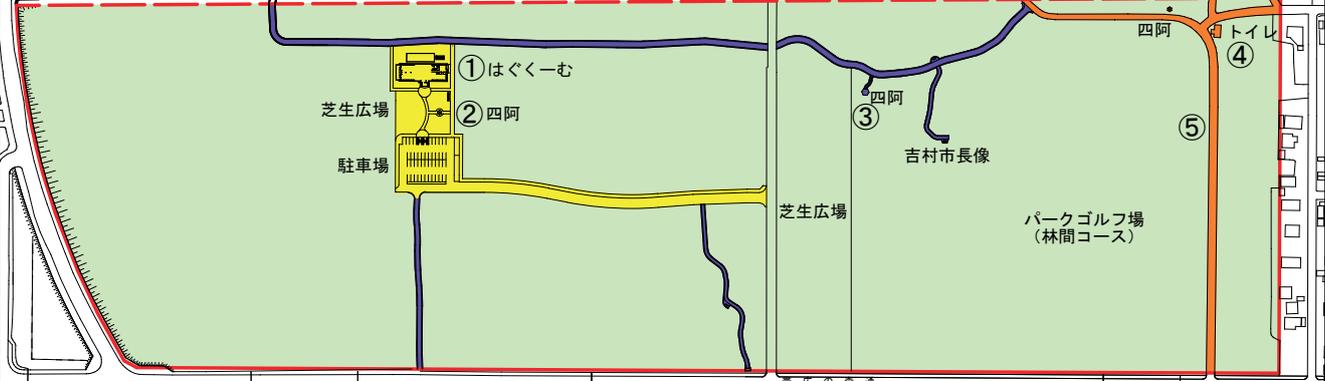
	平成20年度以前施工	園路 : 450m 四阿 : 1基 トイレ : 1棟
	平成21年度施工	はぐくむ 駐車場 : 1箇所
	平成22年度施工	園路 : 840m



⑤園路



④トイレ



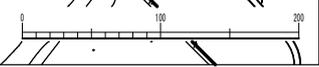
①はぐくむ



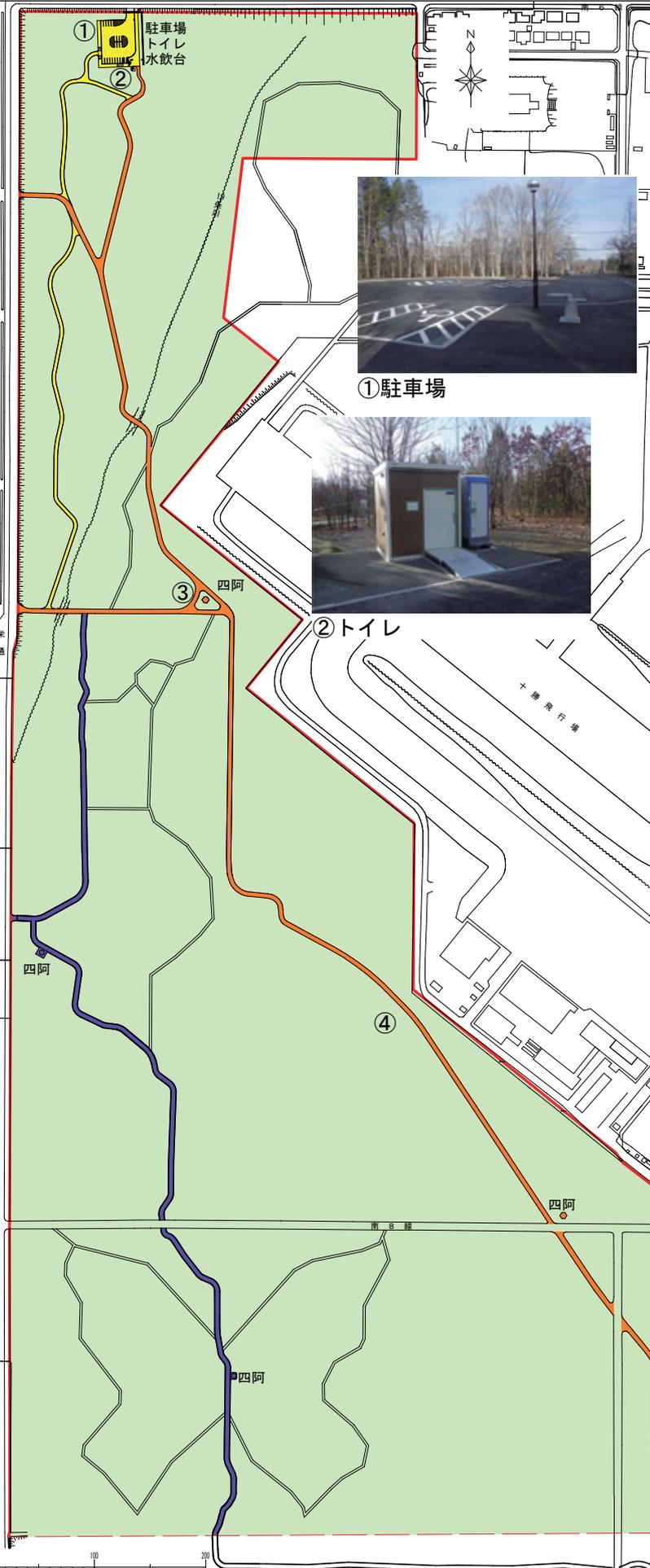
②四阿



③四阿



区域 3



① 駐車場



② トイレ



③ 四阿



④ 園路



平成20年度以前施工	園路 : 1,900m 四阿 : 2基
平成22年度施工	園路 : 970m 四阿 : 2基
令和 4年度施工	駐車場 : 1箇所 トイレ : 2基 水飲台 : 1基 園路 : 580m



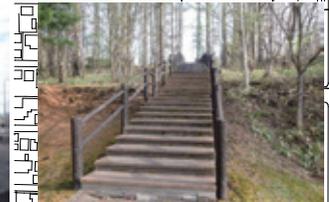
①もりの山



②シェルター



③トイレ



④園路



⑤園路



平成19年度以前施工	園路：1020m 駐車場：3箇所 トイレ：1棟	平成30年度施工	園路：80m
平成20年度施工	園路：210m	令和1年度施工	園路：90m
平成22年度施工	園路：720m 四阿：2基	令和2年度施工	園路：240m
平成24年度施工	園路：210m	令和3年度施工	園路：330m
平成28年度施工	築山 (H23～) トイレ：1棟 水飲台：1基	令和4年度施工	シェルター：1基
平成29年度施工	園路：50m 駐車場：1箇所		



第2節 施設の利用状況

帯広の森・はぐくーむ

帯広の森指定管理者 (株)ケイセイ 佐藤 航

帯広の森・はぐくーむは帯広の森の育成管理・利活用の拠点施設として2010年4月に開館した。育成管理の拠点として、森の育成に関する計画・運用や、公園施設の維持などを担っている。

また、利活用の拠点として、帯広の森に関する様々な情報の発信や、森に親しめる行事の開催や学校の体験学習の受け入れを行っている。

施設概要

所在地	帯広市南町南9線49番地1
延床面積	364.36㎡
構造	木造平屋建
開館年月日	平成22年4月1日
施設の概要	【施設本体】 事務室、ホール、多目的室、便所、デッキテラス、作業室 【付属施設】 ①倉庫 構造:木造平屋建 延床面積:54.65㎡ ②ペレット工房 構造:木造平屋建 延床面積:66.25㎡ 内容:破碎機、ペレタイザー、昇降機、自動供給機、ホイス、乾燥エリア、チップ原木置場
駐車場	普通車44台(うち身障者用2台) 大型車2台
開館時間	4月29日～10月31日▶午前9時～午後7時 11月1日～4月28日▶午前9時～午後5時
休館日	毎週月曜日(祝日の場合は翌日)、年末年始、祝日の翌日



はぐくーむ全景



はぐくーむ館内

館内マップ



来館者数の推移

開館以来、はぐく一むを訪れる来館者の数は順調に伸びてきている。(表1参照)特に学校等での体験学習の利用は伸びが顕著で、2023年度には開館史上最多の17,186人が訪れ、森林体験の場として、はぐく一むの認知度は上がってきている。

一方で、一般来館者の伸びは緩やかで、まだはぐく一むを知らない市民も多い。帯広の森の玄関口として、市民からの認知度を上げていくことが今後の課題として挙げられる。



小学校の体験学習



はぐく一む東側ウッドデッキ



クロスカントリースキー

表1:はぐく一む利用実績 ※行事の参加者数に秋まつり、森の音楽会は含まない

年度	来館者総数	行事		学校等利用		うち団体		その他
		回数	参加者数	回	人	回	人	
2010	9,632	57	710	11	663	115	2,024	6,235
2011	13,433	52	809	26	1,519	163	2,395	8,710
2012	14,083	64	1,116	27	1,442	132	2,012	9,513
2013	14,771	61	969	36	2,207	140	1,970	9,625
2014	15,069	61	1,052	49	2,366	115	1,745	9,906
2015	15,080	59	1,006	44	2,236	126	1,875	9,963
2016	15,193	64	1,209	65	2,705	142	2,094	9,185
2017	15,284	61	1,076	69	3,268	128	2,044	8,896
2018	13,248	50	925	78	3,420	97	1,339	7,564
2019	15,030	45	781	64	2,946	95	1,394	9,909
2020	13,958	35	795	66	3,219	77	1,007	8,937
2021	13,753	31	573	67	3,411	80	968	8,801
2022	16,422	41	782	88	4,104	107	1,533	10,003
2023	17,186	38	738	74	3,945	139	2,058	10,445

はぐくーむ主催行事

はぐくーむは年間を通して森に親しめる様々な行事を開催している。行事を開催する目的は大きく分けて2つあり、1つ目は帯広の森を知ってもらうためである。自然観察会や森の間伐材を利用した木工体験、森というフィールドを利用したウォーキングや歩くスキー体験などの行事がこれに当たる。開館当初はこれらの森に親しむ入口となるための行事が中心だった。

しかし、これらの行事だけでは森との関わりは限定的となる。そこで、行事を開催する目的の2つ目、参加者にもっと森と深く関わってもらうための行事も開館の数年後から開催するようにしている。例えば2015年から始まった「森の寺子屋」では、小学生を対象に年6回程度、生き物調べや間伐などの様々な体験を行い、森づくり、森あそびの達人となることを目標としている。また、2018年からは森づくり活動団体のおれいおん・とかちとの共催で「あそびの森のあしあとづくり」を定期的に開催し、親子でできる森づくりをみんなで協力しながら続けている。

市民と森の関わり方を考える中で、やり方が変わってきた行事もある。自然観察会は開館当初は一人の講師による解説だけで森を案内していたが、やがて「四季の森めぐり」として、スタッフだけではなく森のボランティアや参加者の気付きや知識を共有することで、参加者の主体性を高めた行事に変わってきた。また、木工体験も、当初はスタッフが事前に用意した間伐材などで工作していたが、やがて「グリーンウッドワーク」など、参加者が間伐体験をして切った木を使って工作するような、森づくりにつながる内容に移行していった。

その他、「森の音楽会」や「はぐくーむ秋まつり」など、数百人規模が集まる大きな行事も毎年開催している。

これらの多種多様な行事を通じて帯広の森を周知し、そこから更に森に深く関わる人を増やしていくことが今後も求められる。



森の寺子屋



あそびの森のあしあとづくり



グリーンウッドワーク

学校等の体験学習による利用

学校等による体験学習の利用は増えてきており(表2参照)、近年は年間70回前後を受け入れている。利用する団体も開館当初は小学校がほとんどで、一部に中学校や幼稚園などの利用がある程度だったが、段々と子育て支援センターや学童、高校、大学など幅広い世代の利用が増えてきた。

2020年度からは中学校の利用が大幅に増えている。これは帯広市の施策で始まった「おびひろ市民学」の一環で、帯広市の全中学校が帯広の森の取り組みを学ぶ授業として、はぐく一むに来るようになったからである。

学校等による体験は、元々森に興味がある人々が来る行事と違い、興味の有無に関わらず授業を受ける全員が森に来ることになる。若い世代が、帯広の森やはぐく一むの取り組みに興味を持つきっかけになりうる貴重な機会として、今後も様々な世代への体験学習の受入れを継続していきたい。



小学校 間伐体験



中学校「おびひろ市民学」

表2:学校等利用実績 ※「支援」は子育て支援センターの略、「PTA」には親子レクなども含む

年度	回数								人数
	支 援	幼稚園/保育園	小学校	中学校	高校/大学	学 童	PTA	合計	
2010	0	0	9	2	0	0	0	11	663
2011	0	3	19	3	1	0	0	26	1,519
2012	0	3	16	6	1	1	0	27	1,442
2013	0	5	24	4	0	2	1	36	2,207
2014	2	8	31	1	0	5	2	49	2,366
2015	3	6	25	2	3	5	0	44	2,236
2016	10	11	27	3	4	8	2	65	2,705
2017	10	12	26	6	5	8	2	69	3,268
2018	11	11	29	7	8	9	3	78	3,420
2019	9	8	25	7	7	7	1	64	2,946
2020	9	11	20	17	8	1	0	66	3,219
2021	7	6	25	22	7	0	0	67	3,411
2022	11	17	33	23	4	0	0	88	4,104
2023	12	16	28	17	1	0	0	74	3,945

本稿では、帯広の森運動施設の施設概要及び利用状況について掲載する。

各施設の詳細は P121 ~ 130 に掲載。

帯広の森 陸上競技場

所在地	河西郡芽室町北伏古東7線3番地1(運動施設区内)
敷地面積	79,333.00㎡
着工年月日	昭和55年 9月22日
竣工年月日	昭和57年12月23日
開館年月日	昭和58年 4月 1日
施設の概要	【競技場】 日本陸上競技連盟第2種公認 1周400m[8コース] (走路及びアウトフィールドドウレタン舗装、 インフィールド芝舗装) 【管理棟】 鉄筋コンクリート造一部2階建 延面積1,158.88㎡ 1階～事務室・更衣室・役員室・器具室・放送室 2階～スタンド(固定席1,004人収容) 【写真判定室】 鉄骨造5.94㎡ 【用具室】 鉄骨造84.00㎡ 【盛土スタンド】 17,500人収容 【駐車場】 4,700㎡(237台収容) [冬季]陸上競技場南西の特設コースをウォーキング コースとして開放

利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	37,616	43,264	36,378
入場者(観覧者)数(人)	777	3,381	4,830

帯広の森 体育館

所在地	河西郡芽室町北伏古東7線6番地2(運動施設区内)
敷地面積	5,040.00㎡
建築面積	3,388.00㎡
構造	鉄骨造一部鉄筋コンクリート
竣工年月日	昭和60年 8月 2日
開館年月日	昭和60年10月20日
施設の概要	【設備・装置】 暖房設備、照明装置、音響装置 【主要施設】 第1体育館 面積 1,403.584㎡(36.40m×38.56m) 第2体育館 面積 283.10㎡(19.00m×14.90m) 第3体育館 面積 253.30㎡(17.00m×14.90m) 走路一周150m 指導員室、医務室、幼児プレー室、会議室、 身障者用トイレ・シャワー室 【観覧席】 移動席2,448席、立見席946席 計3,394席

競技種目

バスケットボール2面、バレーボール3面、バドミントン8面、卓球22面、
 庭球2面、柔道9会場、剣道9会場、銃剣道9会場、空手9会場、ハンドボール、
 弓道、洋弓、フォークダンス、ボクシング、その他(サーキットトレーニング、
 体カスポーツ(運動能力診断))

利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	63,599	67,977	36,670
入場者(観覧者)数(人)	7,300	9,857	7,927

帯広の森 アイスアリーナ

所在地	河西郡芽室町北伏古東7線5番地1(運動施設区内)
敷地面積	7,700.00㎡
建築面積	5,899.21㎡
構造	鉄筋コンクリート2階建 一部鉄骨造
着工年月日	昭和60年10月11日
竣工年月日	昭和62年7月31日
開館年月日	昭和62年8月30日
施設の概要	【リンク】 公認リンク(60m×30m) 永久床式(鋼管埋設) 【主要施設】 1階～事務室・ラウンジ・選手控室(4)・研修室(2)・ レフェリー室・医務室・放送室・身障者用トイレ・ 冷凍機室・電気室・倉庫・プレイヤーズベンチ(2)・ オフィシャルベンチ・ペナルティベンチ(2)・ 会議室 2階～観覧席・ホワイエ・トイレ 【観覧席】 固定席1,500人、立見席1,000人 合計2,500人

利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	48,988	39,699	49,566
入場者(観覧者)数(人)	0	10,978	6,280

帯広の森 第二アイスアリーナ

所在地	河西郡芽室町北伏古東7線5番地1(運動施設区内)
敷地面積	4,870.00㎡
建築面積	2,976.76㎡
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
着工年月日	昭和62年6月1日
竣工年月日	昭和62年12月24日
開館年月日	昭和62年12月30日
施設の概要	【リンク】 公認リンク(60m×30m) 永久床式(鋼管埋設) 【主要施設】 選手控室(4)、放送兼監視員室、休憩室、レフェリー室、 プレイヤーズベンチ(2)、オフィシャルボックス、 ペナルティベンチ(2)、身障者トイレ 【観覧席】 立見席1,000人

利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	27,254	23,069	21,085
入場者(観覧者)数(人)	0	30	1,020

帯広の森 研修センター

所在地	河西郡芽室町北伏古東7線4番地2(運動施設区内)
敷地面積	6,000.00㎡
建築面積	1,549.59㎡
構造	鉄筋コンクリート造2階建
着工年月日	昭和63年8月3日
竣工年月日	昭和63年12月26日
開館年月日	平成元年1月15日
施設の概要	【宿泊室】 定員100名(和室7室(12畳4室・23畳3室)、洋室3室(3人2室・4人1室)) 【食堂】 150人 研修室50人 浴室 【トレーニング室】 108.65㎡

利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	7,774	9,517	12,357

帯広の森 野球場

所在地	帯広市南町南7線56番地7(運動施設区内)
敷地面積	75,525.00㎡
建築面積	5,242.988㎡
構造	(内野)鉄筋コンクリート造2階建 (外野)盛土
着工年月日	昭和61年8月13日
竣工年月日	平成2年3月10日
開館年月日	平成2年6月24日
施設の概要	【グラウンドの大きさ】 両翼97.60m(320.0ft) センター122.0m(400.0ft) バックストップ20.0m(65.6ft) 【外野フェンスの高さ】 2.50m コンクリート壁(ラバーフェンス)1.50m ネットフェンス1.00m 【スコアボード】 磁気反転式(幅29.50m・高さ7.00m) 【主な諸室】 ホール・事務室・会議室・医務室・ ダックアウト・グラウンドキーパー室・競技役員室・ 選手控室・シャワー室・コンコース 【収容人数】 23,044人[内野8,008人・外野15,000人・ 身体障害者用36人(身体障害者・付添人各18人)] 【駐車場】 391台(バス9台) [冬季]野球場南西の特設コースをミニスキー場や 雪中パークゴルフ場として開放

利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
夏	利用者数(人)	6,470	8,201	10,582
	入場者(観覧者)数(人)	13,215	28,966	23,905
冬	利用者数(人)	2,587	2,237	2,241

帯広の森 市民プール(スインピア)

所在地	河西郡芽室町北伏古東7線6番地2(運動施設区内)
敷地面積	15,000㎡
建築面積	5,991.77㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造地上2階、地下1階
着工年月日	平成7年6月20日
竣工年月日	平成8年9月17日
開館年月日	平成8年9月28日
施設の概要	【50mプール】 水域50m×25m 水深1.2m~1.4m タイル仕上げ、(財)日本水泳連盟による公称50m 競泳プール公認、一部可動床採用 (10m×25m水深0.8m~2.5mFRP製) 【児童用プール】 132㎡ 水深0.8m FRP製 【幼児用プール】 94㎡ 水深0.5m FRP製 【その他施設】 更衣・ロッカー室(男女各360人分)、採暖室、 ランニング走路(1周230m)、会議室、監視・放送室、 救護室、エレベーター、観覧者席(509席)、事務室他

利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	82,551	102,618	113,661
入場者(観覧者)数(人)	3,422	2,940	4,325

帯広の森 弓道場・アーチェリー場

所在地	河西郡芽室町北伏古東6線8番地1(運動施設区内)
敷地面積	23,400㎡
建築面積	1,085㎡
構造	鉄骨造平屋建
着工年月日	平成8年9月17日
竣工年月日	平成9年8月29日
開館年月日	平成9年9月1日
施設の概要	○弓道場 【射場】 近的(12人立)、遠的(6人立)、室内近的(6人立) 【主要施設】 更衣室(男・女)、控室、近的の場棟、遠的の看的所 ○アーチェリー場 【的】 屋外短距離固定的(6的) 屋外長距離固定的(3的) 屋外的36的設置可(夏期間) 【主要施設】 記録集計室、審判控室、器具庫 ○その他 事務室、研修室、男女トイレ、湯沸室

利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	
利用者数(人)	弓道場	21,181	25,347	27,614
	アーチェリー場	1,030	2,033	1,932
入場者(観覧者)数(人)	58	60	708	

帯広の森 テニスコート

所在地	河西郡芽室町北伏古東8線7番地1(運動施設区内)
敷地面積	39,000㎡
建築面積	コート面積 16,296㎡
構造	砂入り人工芝
着工年月日	平成10年3月27日
竣工年月日	平成11年10月12日
開館年月日	平成12年4月30日
施設の概要	【コート】 砂入り人工芝 20面(内夜間照明10面) 硬式・軟式兼用 フェンス 564m 【収容人員】 盛土芝生スタンド 約6,000人 【クラブハウス】 鉄筋コンクリート造 一部2階建 身障者駐車場7台 411.8㎡ 事務室、会議室2室、シャワー室、男女トイレ、 身障者用トイレ、更衣室、物品庫、ロビー

利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	42,751	68,207	69,311
入場者(観覧者)数(人)	685	4,410	5,590

帯広の森 球技場

所在地	河西郡芽室町北伏古東8線5番地1(運動施設区内)
敷地面積	47,002㎡
球技場面積	30,240㎡
構造	サンド工法
着工年月日	平成12年6月19日
竣工年月日	平成14年3月15日
開館年月日	平成14年7月
施設の概要	【サッカー公式戦】 大人使用時2面(105m×68m) 小人使用時4面(68m×50m) 【ラグビー】公式戦2面(144m×70m) 【観客席】固定席400人 立見席8,000人

利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	7,145	6,656	7,448
入場者(観覧者)数(人)	769	5,238	11,286

その他の施設

●帯広の森 平和球場(1面)

所在地	帯広市南町南8線46番地1
-----	---------------

利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	2,703	3,283	4,942

●帯広の森 運動公園PG場(18ホール)

所在地	河西郡芽室町北伏古東7線
-----	--------------

利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	27,020	32,660	32,760

●ふるさとの森PG場(18ホール)

●林間PG場(18ホール)

帯広の森 スポーツセンター

所在地	河西郡芽室町北伏古東7線6番地1-1(運動施設区内)
敷地面積	11,883㎡
建築面積	1階3,676㎡ 2階651㎡ 延4,327㎡
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造・2階建
着工年月日	平成12年8月10日
竣工年月日	平成13年9月28日
開館年月日	平成13年10月6日
施設の概要	◎年間を通して利用できる 多目的屋内体育館 ○冬期利用種目(アイスアリーナ) アイスホッケー・フィギュアスケート・ スピードスケート・ ショートトラックスピードスケート ○夏期利用種目(体育館) インラインホッケー・ インラインスケート・バドミントン・ フットサル・バウンドテニス・ 社交ダンス・卓球等

利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	25,890	27,352	29,051
入場者(観覧者)数(人)	4,331	6,971	7,843

帯広の森 屋内スピードスケート場 (ネーミングライツ:明治北海道十勝オーバル)

所在地	河西郡芽室町北伏古東7線7番地3(運動施設区内)
敷地面積	104,900㎡
建築面積	18,088.18㎡
構造	鉄骨造一部鉄筋コンクリート 2階建
着工年月日	平成19年 6月25日
竣工年月日	平成21年 7月31日
開館年月日	平成21年 9月 1日
施設の概要	【リンク】 標準ダブルトラック・Cタイプ リンク1周400m×幅15m 【中地多目的広場】 フットサル3面、テニス6面 【ランニング走路】 1周約470m 【健康増進多目的室】 【観覧席】 合計3,000人収容 固定席1,000人 立見席2,000人 【駐車場】 318台収容(身障者用6台)

利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
利用者数(人)	164,803	165,953	171,543
入場者(観覧者)数(人)	14,080	12,025	41,520

沿 革

十勝地域における住民の国際理解の高揚を図り、国際親善交流及び国際協力を推進するとともに、地域住民と外国人との交流を図る場を提供するため、平成8年4月に、JICA 北海道（帯広）に隣接して設置された。

「世界のともだち」や「森のハロウィーン」、「国際フェスタ」をはじめとするさまざまな国際交流イベントの実施のほか、十勝管内の主要な国際交流施設として日頃から市民や在住外国人に利用されている。

平成28年度には、森の交流館・十勝、JICA 北海道（帯広）、十勝インターナショナル協会の設立20周年を記念し、帯広商工会議所、帯広畜産大学とともに組織した実行委員会により、記念事業を森の交流館・十勝及びJICA 北海道（帯広）、帯広畜産大学で実施した。



世界のともだち

施設概要

所在地	帯広市西20条南6丁目1番地2 (帯広の森第5ブロック内)
構造	木造(一部鉄筋コンクリート造)
建築規模	地上2階、地下1階、茶室棟、倉庫棟
敷地面積	約6,300㎡
建築延べ面積	1,708.57㎡
	地階 423.51㎡
	1階 1,042.37㎡
	2階 119.04㎡
	茶室棟 42.65㎡
	倉庫棟 81.00㎡
施設の概要	多目的ホール、ウィンターガーデン、調理室、図書資料室、展示コーナー、茶室他



森のハロウィーン

- 多目的ホールではミニバレーやバドミントン、卓球等を楽しめます。

一般利用料金 大人 …… 170円
 高齢者 …… 80円
 高校生 …… 80円
 中学生以下 …… 無料

利用状況

		令和3年度	令和4年度	令和5年度
有料施設利用者	件	455	514	633
	人	8,978	13,338	14,178
一般入館者	人	5,692	7,677	9,910
合計	人	14,670	21,015	24,088

- 図書資料室では、世界の絵本を読むことができます。また、世界のボードゲームを貸し出しています。

沿革

独立行政法人国際協力機構（JICA）は、国内に拠点を設置し、開発途上国からの研修員受入、大学や民間企業等による国際協力活動の支援、市民向け国際理解教育支援、ボランティア事業の募集、多文化共生支援等を行っています。

JICA 北海道（帯広）は道東における国際協力の拠点として、平成8年4月に設置されました。産官学を始め様々な団体と連携し、農畜産業や自然環境保全分野を中心に、地域の技術や特性を生かした協力を進めています。

施設概要

所在地	帯広市西20条南6丁目1番地2 (帯広の森第5ブロック内)
構造	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造
建築規模	地上3階、地下1階、塔屋1階
敷地面積	5,789.78㎡
建築延べ面積	4,418.32㎡
施設の概要	宿泊室(48室※内ツインルーム2室)、 セミナールーム(4室)、オリエンテーションルーム、パソコンルーム、図書資料室、ラウンジ、レストラン、その他

利用状況

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
一般来館者(人)	1,028	4,233	6,398
レストラン利用者(人)	0	2,427	5,164
研修員(人)	262	343	376
合計	1,290	7,003	11,938

※令和3年度は新型コロナウイルス感染拡大によりレストランを休館したため、利用者実績なし。

帯広の森の構想と市民の参画を学ぶ

JICAで行っている課題別研修「地域住民の参加による持続的な森林管理」研修では毎年、「帯広の森・はぐくむ」で、森づくりについて学んでいます。令和5年度にはアジア、アフリカ、南米、ヨーロッパ、大洋州10ヶ国の森林官や専門家計10名が、帯広の森の歴史や構想について学んだあと、森を散策しながら独自の森林生態系や保全・管理方法、

そして子どもたちの自然教育の場になっていることについて説明を受け、森づくりに携わる市民ボランティアの方々と意見交換を行っています。

研修員からは、「高齢のボランティアの方々が、森から受けた恩返しのために自発的に働き続けていることに感銘を受けた。自国でも豊かな緑地帯づくりを進めるとともに、一人でも多くの住民を巻き込んで森林再生に取り組みたい」などの声もあり、帯広の森の取り組みから多くの刺激を受けています。



また、森づくり活動団体である「エゾリスの会」会長の三日市氏からは「研修員の皆様は国も文化も違う中、帯広の森の活動について自国に持ち帰り活用できないかと真剣に質問があり、また私たちの活動に対して違う視点からのアドバイスも頂いて、実り多い意見交換会でした」とお話しいただきました。



帯広市都市農村交流センター(サラダ館)※帯広の森区域外の隣接施設 帯広市 農政課

沿革

自然と土、農業とのふれあいの場として、「地域資源整備活用農業構造改善事業」及び「構造政策推進モデル集落整備事業」を導入し、平成4年度に供用を開始した。

施設概要

所在地	帯広市西22条南6丁目6番地
主要施設等	農園面積:23,000㎡ 市民農園:18,000㎡ 学童農園:5,000㎡ 都市農村交流センター 「サラダ館」:1棟 874.36㎡ ふれあい広場:5,000㎡ 温室:3棟 606.8㎡
サラダ館概要	開館時間:午前9時～午後10時 (休館日:水曜日、年末年始) 主要な施設:農産加工室 (各種調理加工作業など。ガスコンロ、オープン、ホイロ、大釜あり) 工芸加工室 (手芸、工作、小規模集会など) レストラン その他 (研修室、集会室)



イベント、市民農園、レストランなど

帯広市都市農村交流センターは、農業に対する理解促進や都市と農村の交流促進を図ることを目的として開園しました。

市民の方へ貸付している市民農園、子どもたちのための学童農園は、自然と土、農業とのふれあいの場として多くの方々にご利用いただいています。

また、7月中旬～10月上旬までの毎週火曜日には「軽トラ市」、9月には「青空市」、11月には「晩秋野菜市」が開催され、地元の農家の方などが、採れたての新鮮野菜を持ち寄って自ら販売しており、生産者と消費者の交流の場としても活用されています。

さらに、じゃがいも収穫会や味噌作り教室、そば打ち体験会などのイベントを毎月開催している他、地場農畜産物をメニューに取り入れたレストランも併設しています。

利用状況

	令和3年度		令和4年度		令和5年度	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数
研修室	287	4,372	367	6,123	355	6,506
集会室	294	4,504	367	6,123	355	6,506
農産加工室	84	648	95	679	90	689
工芸加工室	87	771	147	1,300	142	1,376
小計	752	10,295	976	14,225	942	15,077
ふれあい広場	0	0	30	587	11	504
合計	752	10,295	1,006	14,812	953	15,581
	区画数		区画数		区画数	
市民農園	162		159		138	
	団体数	人数	団体数	人数	団体数	人数
学童農園	12	449	19	744	22	1,677



ジャガイモ収穫

青空市

園路等

園路・広場・駐車場・トイレ等は昭和57年から整備が開始され、帯広の森全域のうち東側から順次整備されてきた。

園路では、帯広の森に来た人々の散歩やジョギング、通学のために自転車で通る学生の姿がみられるほか、犬の散歩、ごみ拾いをする人など、多種多様な使われ方をしている。



園路

園路の各所には四阿（あずまや：公園などに設けられる、柱と屋根だけの休憩用または眺望用の小さい建物）やトイレが整備されており、帯広の森内を散歩する方などが、休憩用として利用している。



四阿

また、一部のトイレ付近には水飲み場も設置している。



飛行場周辺駐車場のトイレと水飲み場

もりの山

平成28年に完成したもりの山は、頂上の展望広場から市街地や令和6年に国立公園に指定された日高山脈を眺望でき、夜間は階段をライトアップし、夜景を見ることができる。

日頃から、散歩やジョギングをしている人が頂上に上り風景を眺めていたり、部活動の生徒が階段を利用してトレーニングをしているほか、冬期には斜面を利用してソリ滑りをしている親子の様子などがみられる。

また、もりの山周辺にはエゾヤマザクラを植栽しており、春先には桜を見ることができる。なお、「もりの山」という名称は、近隣の小学生を対象に募集し決定した。



もりの山